

東日本大震災10年

名古屋市被災地支援記録誌

～陸前高田市への行政丸ごと支援と交流の歩み～





提供 東海新報社



東日本大震災10年

名古屋市被災地支援記録誌

～陸前高田市への行政丸ごと支援と交流の歩み～





ごあいさつ

東日本大震災から10年が経過し、岩手県陸前高田市を始めとする東北地方では震災の記憶と教訓を語り継ぎ、同じ悲しみを二度と繰り返さない伝承の取り組みが進められています。

本市においても平成23年度に延べ144名の職員が派遣されたことを皮切りに、多くの職員が携わってきた陸前高田市への被災地支援「行政丸ごと支援」から学んだ知識と教訓を、これまで市民の皆様へ様々な機会を通じてお伝えするとともに、本市の防災施策、災害対策にも生かしてきました。

「行政丸ごと支援」をご縁として平成26年10月に陸前高田市と友好都市協定を締結し、様々な分野で交流を進めてきましたが、この度、震災10年を一つの節目に、これまでの支援活動と陸前高田市との交流の歩みについて、記録誌としてとりまとめることとしました。

この記録誌が南海トラフ地震を始めとする大規模災害に備えるため、改めて市民一人ひとりが今できることは何かを考える契機となるとともに、陸前高田市との絆、交流をより深め、両市の益々の発展につながれば幸いです。

令和3年11月
名古屋市長 河村 たかし

名古屋市被災地支援記録誌

～陸前高田市への行政丸ごと支援と交流の歩み～

contents 目次

第1章

東日本大震災の概要

- 1 東日本大震災の概要 008
- 2 東北三県(岩手県・宮城県・福島県)の被害概要 012
- 3 陸前高田市の被害概要 016



出典: いわて震災津波アーカイブ / 提供者: 宮古市

第2章

陸前高田市への“行政丸ごと支援”

- 1 “行政丸ごと支援”決定までの経緯 026
- 2 職員派遣に向けた課題、調整
～誰をどこにどのように～ 034
- 3 “行政丸ごと支援”のスキーム 042
- 4 派遣職員へのバックアップ 048
- 5 “行政丸ごと支援”活動の推移 052
- 6 派遣職員活動記録 066
- 7 その他地域への被災地支援 110
- 8 産業支援 132
- 9 医療支援 138



第3章

支援から得た教訓等の還元 ～南海トラフ地震への備え～

- 1 派遣職員による市民向け講演会等 146
- 2 行政計画・マニュアル等への反映 152
- 3 南海トラフ地震への備え 158



第4章

陸前高田市との交流

- 1 子ども達の交流 166
- 2 なごや子ども市会 190
- 3 友好都市協定の締結 192
- 4 郷土芸能の相互披露 194
- 5 市民美術展での相互展示 196
- 6 市民交流事業補助制度 198
- 7 博物館の交流 200
- 8 議会の交流 202
- 9 市民交流団の派遣 204
- 10 「奇跡の一本松」後継樹と「絆の日」 210



第5章

陸前高田市の概要

- 1 陸前高田市の原風景 214
- 2 陸前高田市の復興の歩み 218
- 3 陸前高田市の現在 228
- 4 陸前高田市の特産品 234



第6章

被災地支援データ集

- 1 被災地支援活動の歩み(年表) 238
- 2 被災地派遣職員名簿 242
- 3 派遣職員数・業務内容 260
- 4 被災者受け入れ支援 270

凡例

＊本書は原則として令和3年4月1日までを記載対象とし、組織は令和3年4月1日現在を記載の対象とした。

＊年代の表記については和暦を主に用い、必要に応じて適宜、西暦を併記した。

＊本文は、原則として常用漢字及び現代仮名遣いを用いた。

＊数字は原則として算用数字を用いた。

＊単位は原則として国際単位系 (SI) を用い、単位記号で表記した。

＊法人の名称は記述年当時のものとし、現在の法人名称は初出においてのみ併記し、2回目以降は省略した。

＊法人・機関に属する個人の役職名は、原則として、在職当時のものとしたが、退職者については、その組織での最終の役職名とした。

＊写真・図表の掲載と提供に協力していただいた機関・団体等の名称や、引用参照した資料などについては、掲載か所ごとに示した。出典を示していないものは、名古屋市または陸前高田市の内部資料である。

＊写真・図表の無断転載及び改変を禁じる。